



## ●●●● 少女雑誌の部屋から ●●●●

3月3日は桃の節句(ひな祭り)。華やかなひな飾りには心が躍ります。近年では段飾りがめっきり減って、コンパクトに収納できるものが主流になっているようですね。少女雑誌には、季節の行事にまつわる特集やグラビアなどが多くみられますが、3月号の定番はやっぱり「おひなさま」。小さなひな飾りがふろくとして付くこともありました。中には人気のある挿絵画家が手掛けたものもあり、紙製ながら非常に美しいものです。きっと少女たちも机の上などに飾ってうっとり眺めていたことでしょう。ちなみに我が家のひな飾りはずいぶん前にねずみに齧られてしまいました…

## あらためて 「ひな祭り」とは？



毎年3月3日に行われる女の子のための祭り。五節句のひとつで、桃の節句、上巳の節句ともいう。女の子の成長を祝い、幸せを願って、ひな人形を飾り、モモの花、白酒、ひし餅などを供える。人形をなでて身のけがれや災いを移し、それを川や海へ流す「流しびな」の風習に、小さなひな人形をつかった「ひいな遊び」という、貴族のこどもの人形遊びなどが結びついたものといわれる。江戸時代のはじめ頃は紙でつくった人形を飾ったといわれ、中頃から、布のひな人形を飾るようになった。また、ひな人形を野外に持ち出して遊ばせる風習も各地にあった。現在も紙でつくった人形を川に流すひなの行事がおこなわれている地域がある。

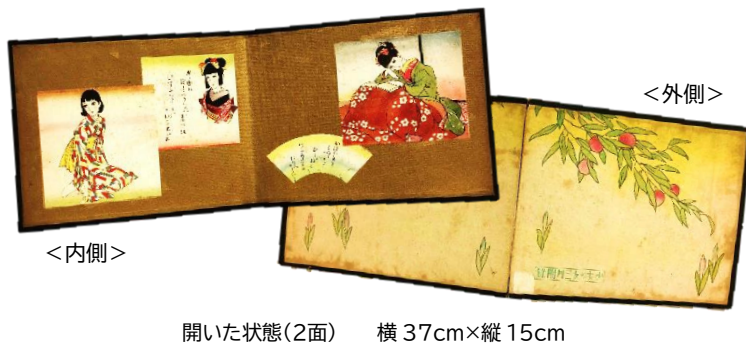
—ポプラディア13巻(ポプラ社)より

## 当館所蔵ふろくコレクションより～紙ものふろく3品～

- 新案組立おひなさま(松本かつち)  
『少女』昭和26年3月号ふろく



- お雛の屏風(中原淳一)  
『少女の友』昭和10年3月号ふろく



- おひなさま金びょうぶ(高島華宵)  
『少女の友』昭和30年3月号ふろく

